

評価点算定資料一覧表

【簡易型】

工事名: △△△

会社名: □□□

工種: ○○

評価項目	細目	区 分			申請点数	提出書類	提出枚数	
企業の施工能力	施工計画(簡易型)		個別工事毎に定める			様式第2号 施工計画	枚	
	過去10年間の同種工事の施工実績	国・県等の実績	市町村等の実績	その他の実績 又は実績なし	点	様式第3号 同種工事の施工実績	枚	
	千葉県所掌工事「工種:○○」における工事成績の平均点	平均点_____点 注3)		点数なし	点	工事成績評定評価を一覧表にして提出(一覧表の様式は自由) 注7)		
	過去2か年度間の「工種:○○」における優良工事表彰対象工事	令和____年度優良工事表彰対象工事あり (令和____年度完成工事)		なし	点			
	過去2か年度間の「工種:○○」における難工事表彰 (令和6年度表彰の翌月の入札公告から適用)	令和____年度難工事表彰あり (令和____年度完成工事)		なし	点			
	登録基幹技能者の配置	あり		なし	点	様式第4号	枚	
	ICT活用工事の実施	活用あり		なし	点			
	千葉県所掌工事における過去の不誠実な行為 注1)	過去2年間に不誠実な行為 による指名停止あり	過去1年間に不誠実な行為 による文書注意あり	なし	点			
配置予定技術者の能力	主任(監理)技術者資格	あり		なし	点	様式第5号 配置予定技術者の資格・工事経験・工事成績 注7)	枚	
	過去10年間の同種工事の施工経験	国・県等の実績	市町村等の実績	その他の実績 又は実績なし	点	様式第6号 配置予定技術者の評価対象期間の追加事由 注8)		
	主任(監理)技術者として施工した千葉県所掌工事における 過去4か年度間の「工種:○○」での工事成績	80点以上の実績あり			なし	点		
	若手技術者・女性技術者の配置	あり		なし	点	様式第7号 若手技術者・女性技術者の配置	枚	
地域精進度	継続教育(CPD)の取り組み状況	あり		なし	点	様式第8号 継続教育(CPD)の取得状況	枚	
	過去10年間の当該管内での施工実績 注2)	国・県等の実績	市町村等の実績	その他の実績 又は実績なし	点	様式第9号 当該管内での施工実績	枚	
地域貢献度	「地震・風水害・その他の災害応急対策に関する業務基本協定」	業務細目協定の締結 あり	県との基本協定のみ 締結あり	なし	点	様式第10号 地震・風水害・その他の災害応急対策に関する協 定	枚	
	災害時の基礎的事業継続力(BCP)の認定	あり		なし	点	様式第11号 関東地方整備局長が発行する認定証の写し	枚	
	県内企業の活用	県内企業である	県外企業である 県内企業が下請負予定金額に占める割合 注3) 注6) (_____ ÷ _____) × 100 = _____ %		点	様式第12号 県内企業の活用 注9)	枚	
	営業拠点(本店)の当該管内における所在地	あり		なし	点			
	県産品の活用	あり		なし	点	様式第13号 県産品活用計画書	枚	
	地域特有貢献	千葉県が管理する公共施設での 地域美化活動のボランティア実績	あり		該当なし	点	様式第14号 地域美化活動のボランティア実績 様式第15号 障害者雇用促進 様式第16号 高齢者雇用促進 様式第17号 女性雇用促進	枚
		千葉県内在住の 障害者雇用実績	あり					
		千葉県内在住の 高齢者雇用実績	あり					
千葉県内在住の 女性雇用実績		あり						
自由項目	過去2年間の災害活動実績及び過去5年間の防疫活動実績の有無	活動実績あり		なし	点	災害活動実績の場合 様式第18号 災害活動実績 防疫活動実績の場合 参考様式 防疫活動実績	枚	
	千葉県所掌工事「工種:○○」における手持ち工事量の状況	年間受注額 注4) ÷ (_____円)	過去2か年度間の 平均受注額 注5) (_____円)	手持ち工事量比率 注3) = (_____)	点	様式第19号 手持ち工事量の状況 契約状況(受注金額)を一覧表にして提出すること(様式は自由) 注10)	枚	

注1) 点数について、指名停止、文書注意が2回以上あった場合は、最大減点のみを記載する。
注3) 小数点2位以下を切り捨てとする。
注5) 過去2か年度間の平均受注額は、500万円以上の工事を対象とする。
注6) (県内企業下請負予定金額合計÷下請負予定金額合計) × 100 により算出する。(様式第12号を参照のこと)
注7) 工事成績の対象は単年度工事のみではなく、複数年度にまたがる工事も含まれる。なお、工事成績は工事検査結果通知書の年月日が属する年度で集計する。(発注年度ではない。)
注8) 様式6号は対象期間の追加の対象の場合のみ作成、提出する。
注9) 入札参加者が県内企業の場合又は県内企業が下請負予定金額に占める割合が50%未満の場合は、提出しなくてよい。
注10) 「千葉県所掌工事(工種:○○)における手持ち工事量の状況」の申請点数が0点(手持ち工事量比率が1.0以上)の場合は、本項目に係る「様式19号」及び「契約状況の一覧表及びCORINSデータ等」は提出しなくてよい。

【記入における留意事項】

- 太枠で囲まれている「区分」、「申請点数」及び「提出枚数」を記入する。「区分」の欄は該当する区分について○で囲み、下線部については記入する。
- 工種○○は、資格要件で設定した工種とする。(工事名の下、プルダウンメニューで選択)
- 申請点数はプルダウンで選択し記入すること。
- 評価項目に設定されていない項目は、「申請点数」及び「提出枚数」欄に「－」を記入する。
- 提出枚数とは提出書類(様式を含む)の枚数をいい、提出部数ではない。
- 区分で「その他の実績又は実績なし」、「なし」又は「該当なし」を選択し、申請点数が0点になる場合は、各様式・添付資料は提出しなくてよい。
- 発注案件に応じて自由項目設定で評価項目が追加されている場合は、適宜、項目を追加する。
- 一抜け方式入札において、様式第12号(県内企業の活用)の申請点数が工事毎に変わる場合は、本書は参加を希望するすべての工事分を作成すること。

注2) 千葉県内での実績を評価項目としている場合は、当該管内を千葉県内と読み替える。
注4) 年間受注額は、入札公告の日から1年間遡った期間に契約したものを対象とし、500万円以上の工事を対象とする。